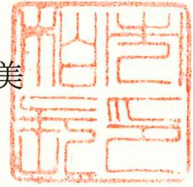


柏地協第189号
令和3年12月24日

外務大臣 林 芳 正 様

千葉県柏市長 太 田 和 美



核兵器禁止条約に関する日本政府の対応について（要請）

貴職におかれましては、「核兵器のない世界」の実現に向けてご尽力いただき、柏市民を代表し、深く感謝を申し上げます。

核兵器禁止条約は、平成29年7月に国連で採択され、本年1月22日に発効いたしました。

柏市では、昭和60年3月20日に「平和都市」を宣言しており、人類共通の願いである世界の恒久平和を希求し、わが国が非核三原則を堅持するとともに、すべての国の核兵器廃絶と軍備縮小の達成を訴えており、柏市議会では令和3年第1回定例会において、日本政府に締約国会議へのオブザーバー参加を求める請願が全会一致で採択されております。

また、本市も加盟する平和首長会議が11月18日付けで日本政府に対し提出した要請書でも、唯一の戦争被爆国として、核保有国と非核保有国との分断解消のための橋渡し役、又、核兵器廃絶のためのリーダーシップを発揮していただくよう要請し、条約の効果的な運用と発展に向けた議論への参加を求めています。

日本政府におかれましては、今般の条約の発効を受け、平和を希求し、核廃絶と軍備縮小を進める過程の中で、まずは核兵器禁止条約の締約国会議にオブザーバーとして参加していただき、核兵器のない世界の早期実現に向けた役割を果たしていただくようお願いいたします。